

とら年も残りわずかです。とら年は「新しく立ち上げる」「芽吹いたものが成長する」という年回りだそうです。この一年を振り返っていかがだったでしょうか。来年はうさぎ年です。大変なことがあったとしてもウサギのようにぴょんぴょん跳ねて、世の中が上向いていくことを祈りつつ、皆さま良いお年をお迎えください

意外に知らない暦の話

せわしない年の瀬なので「すでに初詣の予定を入れた」という方もいらっしゃるかもしれません。新年の神社仏閣は大にぎわいで楽しそうですね。とはいえ場合によっては「人混みは避けたいなあ」ということもあるでしょう。そんな方にお伝えしたいのが1月4日の「石の日」、またの名を「ストーンズデー」。これは「1=い、4=し」の語呂合わせからできた記念日で、この日、願いがかけられた石——「お地蔵様」や「こま犬」などに触れると願いがかなうのだとか。三が日の後であればぐっと人出も減りますから、あえて「石の日」に足を運んでみるのも一策ではないでしょうか。いつも寝正月という方にも「石の日」の参拝はおすすめです。そして特筆すべきはこの願掛け、なんと「墓石」でもOKなのだとか！年始の墓参りは控える地域もあるようですが、そうでなければぜひご先祖様へ年頭のごあいさつを差し上げつつ、墓石をなでながらお参りしてはいかがでしょうか。

気軽にLet's英会話

今月のキーワード：【airfare】

コロナの発生から約3年が経ち、この年末年始は海外旅行を楽しむ方も多いでしょう。現在の航空運賃は、需要と供給のバランスや原油価格高騰のため、コロナ前に比べて値上がりしています。「久しぶりに年末はハワイで過ごしたかったけど、飛行機代が高くてあきらめたの」は“I wanted to spend the end of the year in Hawaii for the first time in a while, but I gave up because the airfare was expensive.”です。「飛行機代」は“airfare”の他にも“plane (airline) ticket”が

知得する知恵袋
魚を焼いたり鍋を焦がしたりすると、キッチンやリビングなどに臭いがこもってなかなか消えまじせんね。臭いが部屋に充満しているときは、濡らしたタオルで部屋の空気をパタパタあおぎましょう。タオルについた水分が臭いを手早く吸収して、消臭に一役買います。

世界の偉人伝

今月の偉人：【トーマス・エジソン】

トーマス・エジソンは「発明王」として名高いアメリカの発明家です。「失敗は成功のもと」という不屈の精神で実験に没頭し、蓄音機や白熱電球の実用化など、およそ1300もの発明や技術革新を行いました。ゼネラル・エレクトリック社の設立に携わるなど、実業家としても活躍し「発明とはそれが人類にとって本当に必要なものなのかを判断する能力である」という言葉を残しています。旺盛な好奇心が高じた発明そのものが目的ではなく、あくまで人々への貢献を望む人だったのです。

主婦川柳 @ 奥さまの細道

家族旅行
部屋で
取り合う
コンセント
(宿では皆、
充電に必死よ)

ナットク! 気になっていたあの言葉

今月の気になっていたあの言葉：【ZEB（ゼブ）】

快適な室内環境を保ちながら、建物で消費する総エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル」の略称。LED照明などの省エネ機器や太陽光発電などを利用するため、光熱費の削減や事業継続性においてメリットがあるが、設備費用の負担が増すデメリットが懸念されている。

ユウタコハル



暮らしの中の千夜一話

鍋の季節がやってきた。今日は朝から冷え込んだせいか、夕方のスーパーには葉物野菜が何も残っていない。けれど土鍋と「鍋の素」があれば冬の食卓は何とでもなる。たとえ具材は同じでも、鍋の素を変えるだけで違った味が楽しめるからすばらしい。手軽でおいしい鍋の素。私は鍋の素に心から敬意を表している。しかし最近、鍋に関してひとつ夢ができた。「鍋の王様」といわれる魚がいるらしいのだ。九州では「アラ」、関東では「モロコ」と呼ばれるハタ科の魚で、幻の高級魚として珍重されている「クエ」だ。相撲界ではちゃんこ鍋の具材としてなじみ深く、大相撲の優勝祝いの席に欠かせないそうだが、漁獲量が少ないので調達には苦労しているらしい。わが家でクエ鍋なんて、夢のまた夢である。ネットで見ると、なんともグロテスクでこわもてな見た目なのに「超絶品！フグよりもうまい」と書いてあった。「旬は脂ののった冬。新鮮なものは刺身が絶品ですが、クエ本来の味を堪能するには鍋料理が一番です」。この記事を読んだ日から「いつかわが家の食卓でクエ鍋を！」が私の密かな夢になった。その日を想像してみる。クエの真っ白な白身は肉



厚で程よいかみごたえ。脂がのっているのにしつこくなく、白身なので味は淡白かと思いきや、かめばかむほど甘みが増してくる。特に身と皮の間のゼラチン質がとろりと溶け出すと、さらにうま味があふれて濃厚な味わいに。魚というより魚と肉の間だ。うろこはかき揚げ、皮は小鉢、えらは酢の物に。内臓はスタミナ源だし骨や目玉も珍味だから、すべてしっかりいただこう。想像の中では何度も食べたクエを思い浮かべながら、今日

今月のあなたの運勢 鑑定:妙慎

A型

楽しいイベントに参加して人脈を広げるのに良い月です。けじめのある生活を心がけると吉運アップ!

B型

できるだけ気持ちを抑えて穏やかに過ごすことを心がけましょう。人脈をいかすことが開運の鍵です。

O型

何かと忙しくなる運勢です。困ったときは友人や同僚に助けを求めたり相談をしてみるとよいでしょう。

AB型

注目を浴びる運勢なので気を引き締めて行動を。足元を固めながら前進すると事がうまく運ぶでしょう。



安井レイコの メタボとは無縁の **パワーレシピ**

【やわらかワイン風味煮豚】

このコーナーでは「ヒルナンデス！」などでおなじみの安井レイコ先生が、簡単で元気になる一品を紹介いたします。脂身がたっぷりの豚肉もおいしいですが、やはり取り過ぎには注意したいものです。赤身の煮豚をやわらかく仕上げるのは難しいですが、そんなときはワインやフレッシュハーブを使って保温調理を試してみましょう。



【材料】2人分

豚もも肉	300 g
白ワイン	150ml
にんにく	1片
塩	大さじ 1/2
フレッシュハーブ	少々
粒黒こしょう	数粒

※フレッシュハーブはローズマリー、ローリエ、イタリアンパセリなどです
※肉を入れる袋は、必ず「湯せん可能」なものを用意してください

【つくり方】

1. 豚もも肉の塊をたこ糸で縛り、湯せん用の袋に入れ、つぶしたにんにく、フレッシュハーブ、粒黒こしょう、白ワイン、塩を入れて、できるだけ空気を抜いてから袋を閉じる
2. 鍋で湯を沸騰させたら火を止め、上記1の肉を入れてフタをしたら、厚手のタオルなどで包んで40～60分保温する
3. 中まで火が通ったところで豚もも肉を取り出し、薄く切ってください



今月のトピック：【『地球の歩き方』東京 多摩地域】

東京 23 区外の多摩 30 市町村を網羅した『地球の歩き方』の「東京 多摩地域」に注目です。海外旅行の定番ガイドブックらしくクチコミやコラム記事が充実した内容で、初の国内版「東京」よりもハイペースで売り上げを伸ばしています。多摩住民の関心も高く、地元の書店や図書館でも人気です。苦境に立つ旅行業界でうれしい快進撃です。



井戸端会議 **でも** 使えるネタ話

今月のネタ話：【画期的な方法で問題解決する商品】

新商品の開発は「企業の継続」だけでなく「社会的な貢献」という面も担っています。つまり、日常生活における消費者の問題を解決してくれる商品が求められているわけですが、その解決方法はひとつではありません



ん。消費者がすでに似たような商品を持っていてもアプローチが変われば「こっちも試してみようかな」となり、使い慣れた商品から切り替える可能性があります。昨今は「こっちも試してみようかな」的な商品がヒットする風潮があるようです。例えば「水流」ではなく「超音波」で汚れを落とし、シンクが食洗機になる超音波洗浄機。置くだけで24時間カビ対策ができるお風呂用防カビ剤。布の代わりに特殊なウレタンスポンジを使ったスティックタイプのタオル。薬の代わりに食事や運動などの行動変容で高血圧を改善するアプリ。どれも今までの常識をくつがえす画期的な解決方法に注目が集まっています。大手企業が積極的に進出している分野でもあり、今後の展開を見守っていきたいところです。

生きる力が湧いてくる！ 光を放つ名言コラム

【うまくいかないときはなぜかを考える】

『メイクがなんとなく変なので友達美容部員にコツを全部聞いてみた』は漫画家の吉川景都氏と化粧品会社の美容部員「BAパンダ」氏による美容コミックです。目のメイクについて、パンダ氏が“なんかうまくできないな”ってときにすぐあきらめたり他のアイテムを探すより“なんでそうなっちゃうか”一度考えてみるクセをつけるといいかもYO」と話していたのが印象的でした。何にせようまくいかない、さっさと撤退したり、新しい道具に飛びついたりすることはよくありそうです。化粧品はどんどん進化するのでなおさらでしょう。ただ現在地を把握しなければ、目的地にどうやってたどり着けばいいのかが見えてきません。まずは自分を観察して現状を知ることから始めようということです。パンダ氏はスキンケアについても「なぜそれをするかを意識しよう」と話していました。あらゆることに言えそうです。

社長の戯言

とっても魅力的ないただきもの

先日、お客様宅を訪問した際に断捨離の最中で、持ち物の整理中とのこと。「ア



ウトドア好きだったよな？」ということ、自作の鉈をお見せいただき、制作時の思いなどをお話しいただきました。

以前からナイフの制作を趣味の一つとされていたのは伺っていましたが、すでに製作からはリタイア済みで、一本作ってほしいなどは思っていたも、かなわぬ願いでありました。

それが今回「これ使えよ」と写真の鉈をいただいてしまいました。「料理も作れるやつが欲しくてな」と、自作されたものです。その他にもナイフや小刀などを拝見し、目の保養になりました。

大切に使用させていただきます。ありがとうございました。 高橋秀彰

「焚き火の会」開催してます！

焚き火を囲んで、思い思いの時間を共有してみませんか。ゆったり、まったり、のんびり、ほっこり、そんな時間を楽しみましょう！炎分不足の方は補給をどうぞ！



12月10日(土) 17時~20時くらい
盟章建設(株) 駐車場

雨天の場合は翌月へ順延となります。
一緒に楽しみましょう！

トナリの本棚

【ハヤブサ消防団】

とある田舎町を舞台にした池井戸潤の小説です。東京から移住してきたミステリー作家が連続放火事件の謎を追う。ページをめくる手が止まらない一冊です。



盟章建設株式会社

〒362-0054 埼玉県上尾市堤崎 444-18

電話：048-776-9801 FAX：048-776-9802

サイト：<http://www.meisyo-kensetsu.jp>

メール：contact@meisyo-kensetsu.jp

ブログ：<http://meisyokk.blog103.fc2.com/>